



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場会社名 富士重工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 齋藤 勝雄 (TEL) 03-6447-8825
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,577,652	△1.5	208,525	△26.9	227,772	△20.1	163,837	△15.2
28年3月期第2四半期	1,601,475	22.2	285,097	53.6	285,022	62.0	193,204	70.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 121,133百万円(△36.5%) 28年3月期第2四半期 190,654百万円(41.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	211.00	—
28年3月期第2四半期	247.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,560,049	1,361,577	53.0
28年3月期	2,592,410	1,349,411	51.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,356,059百万円 28年3月期 1,343,732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	72.00	—	72.00	144.00
29年3月期	—	72.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	72.00	144.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,180,000	△1.6	373,000	△34.1	397,000	△31.2	278,000	△36.3	359.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	769,175,873株	28年3月期	782,865,873株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,488,907株	28年3月期	2,487,843株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	776,466,176株	28年3月期2Q	780,381,283株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信（添付資料）4ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、自動車売上台数の増加があったものの、為替変動に伴う売上高の減少などにより、1兆5,777億円と前年同期比238億円(1.5%)の減収となりました。

利益面につきましては、自動車売上台数の増加や原価低減の進捗などにより、エアバッグインフレーターに起因する品質関連費用を中心とした諸経費等ならびに試験研究費の増加を吸収したものの、為替変動が影響し、営業利益は2,085億円と前年同期比766億円(26.9%)の減益となり、経常利益につきましても、2,278億円と前年同期比573億円(20.1%)の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、1,638億円と前年同期比294億円(15.2%)の減益となりました。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上高	営業利益 (利益率)	経常利益 (利益率)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (利益率)	為替レート
2017年3月期第2四半期	1,577,652	208,525 (13.2)	227,772 (14.4)	163,837 (10.4)	107円/米ドル 120円/ユーロ
2016年3月期第2四半期	1,601,475	285,097 (17.8)	285,022 (17.8)	193,204 (12.1)	122円/米ドル 135円/ユーロ
増減	△23,823	△76,572	△57,250	△29,367	
増減率	△1.5	△26.9	△20.1	△15.2	

[セグメントの状況]

当第2四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

(単位 金額：百万円、比率：%)

	売上高				セグメント利益又は損失			
	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減	増減率	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減	増減率
自動車	1,505,721	1,492,380	△13,341	△0.9	273,170	203,296	△69,874	△25.6
航空宇宙	73,485	66,766	△6,719	△9.1	9,647	3,599	△6,048	△62.7
産業機器	18,490	14,635	△3,855	△20.8	607	△293	△900	—
その他	3,779	3,871	92	2.4	1,348	1,470	122	9.1
調整額	—	—	—	—	325	453	128	39.4
合計	1,601,475	1,577,652	△23,823	△1.5	285,097	208,525	△76,572	△26.9

(注) 1. 売上高は、外部顧客への売上高であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

① 自動車事業部門

国内の登録車につきましては、「レヴォーグ」の販売が減少したものの、「フォレスター」などの販売が好調に推移したことにより、売上台数は5.2万台と前年同期比0.3万台(5.3%)の増加となりました。一方、軽自動車につきましては、昨年からの軽自動車税増税の影響などにより、1.6万台と前年同期比0.1万台(6.8%)の減少となりました。これらの結果、国内における売上台数の合計は6.8万台と前年同期比0.2万台(2.3%)の増加となりました。

海外につきましては、当社の重点市場である北米において「アウトバック」などの販売が好調に推移したことにより、売上台数の合計は44.4万台と前年同期比3.8万台(9.4%)の増加となりました。

地域別の売上台数は、北米で35.5万台と前年同期比3.9万台(12.2%)の増加、ロシアを含む欧州で2.2万台と前年同期比0.1万台(3.9%)の減少、豪州で2.2万台と前年同期比0.1万台(2.5%)の減少、中国で2.2万台と前年同期比0.1万台(6.2%)の増加、その他地域で前年同期並みの2.2万台となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は、第2四半期連結累計期間において過去最高となる51.2万台と前年同期比4.0万台(8.4%)の増加となったものの、為替変動の影響により、全体の売上高は、1兆4,924億円と前年同期比133億円(0.9%)の減収となりました。また、セグメント利益につきましては、為替変動及びエアバッグインフレーターに起因する品質関連費用を中心とした諸経費等ならびに試験研究費の増加の影響により、2,033億円と前年同期比699億円(25.6%)の減益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の連結売上台数は以下のとおりです。

(単位 台数：万台、比率：%)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減	増減率
国内合計	6.7	6.8	0.2	2.3
登録車	5.0	5.2	0.3	5.3
軽自動車	1.7	1.6	△0.1	△6.8
海外合計	40.6	44.4	3.8	9.4
北米	31.7	35.5	3.9	12.2
欧州・ロシア	2.3	2.2	△0.1	△3.9
豪州	2.3	2.2	△0.1	△2.5
中国	2.0	2.2	0.1	6.2
その他地域	2.2	2.2	△0.0	△0.8
総合計	47.2	51.2	4.0	8.4

② 航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、回転翼機の生産が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

民間向け製品では、「ボーイング787」の生産が増加したものの、為替変動の影響により、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、全体の売上高は668億円と前年同期比67億円(9.1%)の減収となりました。セグメント利益につきましても、36億円と前年同期比60億円(62.7%)の減益となりました。

③ 産業機器事業部門

北米向けレジャービークル用エンジンの販売が減少したことにより、売上高は146億円と前年同期比39億円(20.8%)の減収となりました。セグメント損失につきましても、前年同期比9億円減益の3億円の損失となりました。

④ その他事業部門

売上高は39億円と前年同期比1億円(2.4%)の増収となりました。セグメント利益につきましても、15億円と前年同期比1億円(9.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2兆5,600億円と前期末に比べ324億円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の減少213億円、投資有価証券の減少209億円、有形固定資産の増加318億円などです。

負債につきましては、1兆1,985億円と前期末に比べ445億円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務の減少157億円、未払法人税等の減少575億円、未払費用の増加342億円などです。

純資産につきましては、1兆3,616億円と前期末に比べ122億円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加606億円、為替換算調整勘定の減少388億円などです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7,767億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は1,984億円（前年同四半期連結累計期間は2,829億円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上2,356億円、未払費用の増加417億円、法人税等の支払1,190億円などです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は1,090億円（前年同四半期連結累計期間は969億円の減少）となりました。主な要因は、有価証券の取得による支出（売却による収入との純額）202億円、固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）669億円、投資有価証券の売却による収入（取得による支出との純額）114億円、貸付けによる支出（回収による収入との純額）152億円などです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は1,167億円（前年同四半期連結累計期間は395億円の減少）となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出527億円、配当金の支払561億円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年3月期通期の連結業績予想につきましては、2016年8月3日に公表いたしました連結業績予想に対し、為替レートの変動による影響及び諸経費等の増加が見込まれるため、下記のとおり修正させていただきます。

2017年3月期通期の連結業績予想値の前提となる為替レートは、1米ドル104円（前回公表106円）、1ユーロ115円（前回公表121円）となっております。また、下期の為替レートは、1米ドル100円、1ユーロ110円としております。

2017年3月期通期連結業績予想(2016年4月1日～2017年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,190,000	百万円 400,000	百万円 410,000	百万円 285,000	円 銭 365.21
今回修正予想(B)	3,180,000	373,000	397,000	278,000	359.94
増減額(B-A)	△10,000	△27,000	△13,000	△7,000	△5.27
増減率(%)	△0.3	△6.8	△3.2	△2.5	△1.4
(ご参考)前期実績 (2016年3月期)	3,232,258	565,589	576,972	436,654	559.54

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に関わる減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に関わる減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微の為、記載を省略しております。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	507,553	531,298
受取手形及び売掛金	140,319	129,790
リース投資資産	21,532	19,775
有価証券	500,572	455,528
商品及び製品	192,705	172,620
仕掛品	50,666	50,518
原材料及び貯蔵品	34,996	41,101
繰延税金資産	90,893	79,294
短期貸付金	151,973	164,853
その他	93,509	89,565
貸倒引当金	△625	△586
流動資産合計	1,784,093	1,733,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	158,386	166,782
機械装置及び運搬具(純額)	138,519	161,069
土地	182,531	183,861
賃貸用車両及び器具(純額)	7,460	15,783
建設仮勘定	46,951	33,768
その他(純額)	38,786	43,159
有形固定資産合計	572,633	604,422
無形固定資産		
その他	20,989	22,348
無形固定資産合計	20,989	22,348
投資その他の資産		
投資有価証券	109,804	88,953
退職給付に係る資産	1,774	483
繰延税金資産	16,339	19,075
その他	90,205	94,418
貸倒引当金	△3,427	△3,406
投資その他の資産合計	214,695	199,523
固定資産合計	808,317	826,293
資産合計	2,592,410	2,560,049

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	326,625	314,760
電子記録債務	91,476	87,623
短期借入金	33,252	42,360
1年内返済予定の長期借入金	33,692	64,212
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	100,272	42,758
未払費用	132,759	166,951
賞与引当金	23,554	24,017
製品保証引当金	51,251	50,624
工事損失引当金	645	201
その他	155,969	165,315
流動負債合計	959,495	958,821
固定負債		
長期借入金	93,030	54,872
繰延税金負債	18,769	17,087
役員退職慰労引当金	478	490
退職給付に係る負債	18,586	18,900
その他	152,641	148,302
固定負債合計	283,504	239,651
負債合計	1,242,999	1,198,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,165
利益剰余金	1,049,016	1,109,664
自己株式	△1,402	△7,168
株主資本合計	1,361,480	1,416,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,344	5,887
為替換算調整勘定	△13,415	△52,180
退職給付に係る調整累計額	△12,808	△11,530
在外子会社のその他退職後給付調整額	△2,869	△2,574
その他の包括利益累計額合計	△17,748	△60,397
非支配株主持分	5,679	5,518
純資産合計	1,349,411	1,361,577
負債純資産合計	2,592,410	2,560,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
売上高	1,601,475	1,577,652
売上原価	1,087,212	1,126,735
売上総利益	514,263	450,917
販売費及び一般管理費	229,166	242,392
営業利益	285,097	208,525
営業外収益		
受取利息	1,489	1,490
受取配当金	762	445
持分法による投資利益	374	—
為替差益	—	22,316
不動産賃貸料	257	260
デリバティブ評価益	9,920	—
その他	458	335
営業外収益合計	13,260	24,846
営業外費用		
支払利息	1,368	974
持分法による投資損失	—	155
為替差損	9,606	—
デリバティブ評価損	—	1,857
その他	2,361	2,613
営業外費用合計	13,335	5,599
経常利益	285,022	227,772
特別利益		
固定資産売却益	99	290
投資有価証券売却益	218	9,918
その他	204	11
特別利益合計	521	10,219
特別損失		
固定資産除売却損	2,252	2,066
その他	192	347
特別損失合計	2,444	2,413
税金等調整前四半期純利益	283,099	235,578
法人税等合計	91,164	70,921
四半期純利益	191,935	164,657
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,269	820
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,204	163,837

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
四半期純利益	191,935	164,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,114	△5,457
為替換算調整勘定	△1,000	△39,926
退職給付に係る調整額	1,201	1,278
在外子会社のその他退職後給付調整額	10	295
持分法適用会社に対する持分相当額	622	286
その他の包括利益合計	△1,281	△43,524
四半期包括利益	190,654	121,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,768	121,188
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,114	△55

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	283,099	235,578
減価償却費	35,748	37,920
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△142	△58
受取利息及び受取配当金	△2,251	△1,935
支払利息	1,368	974
固定資産除売却損益 (△は益)	2,153	1,776
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△160	△9,581
営業貸付金の増減額 (△は増加)	140	1,226
売上債権の増減額 (△は増加)	19,965	5,264
たな卸資産の増減額 (△は増加)	35,119	△14,917
仕入債務の増減額 (△は減少)	△795	△8,582
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,775	41,738
その他	△10,612	26,500
小計	351,857	315,903
利息及び配当金の受取額	2,734	2,492
利息の支払額	△1,410	△1,031
法人税等の支払額	△70,322	△118,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,859	198,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△28,085	△11,774
有価証券の取得による支出	△3,174	△45,081
有価証券の売却による収入	6,422	24,894
固定資産の取得による支出	△56,310	△67,629
固定資産の売却による収入	523	715
投資有価証券の取得による支出	△24,174	△20,382
投資有価証券の売却による収入	13,021	31,734
貸付けによる支出	△53,389	△69,077
貸付金の回収による収入	56,041	53,903
その他	△7,773	△6,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,898	△108,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,933	12,329
長期借入れによる収入	3,860	5,150
長期借入金の返済による支出	△19,944	△12,792
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△10	△52,739
配当金の支払額	△28,827	△56,105
非支配株主への配当金の支払額	—	△1,944
その他	△554	△560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,542	△116,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,383	△25,521
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	145,036	△52,773
現金及び現金同等物の期首残高	612,085	829,461
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△127	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	756,994	776,688

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,505,721	73,485	18,490	1,597,696	3,779	1,601,475	—	1,601,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,267	—	108	2,375	7,776	10,151	△10,151	—
計	1,507,988	73,485	18,598	1,600,071	11,555	1,611,626	△10,151	1,601,475
セグメント利益	273,170	9,647	607	283,424	1,348	284,772	325	285,097

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,492,380	66,766	14,635	1,573,781	3,871	1,577,652	—	1,577,652
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,427	—	95	2,522	11,960	14,482	△14,482	—
計	1,494,807	66,766	14,730	1,576,303	15,831	1,592,134	△14,482	1,577,652
セグメント利益又は損 失(△)	203,296	3,599	△293	206,602	1,470	208,072	453	208,525

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

< 2017年3月期 第2四半期連結決算 参考資料 >

金額：億円、台数：千台、比率：％：千台、比率：％

	前期実績 2016年3月期 第2四半期累計期間 (2015.4.1~2015.9.30)	当期実績 2017年3月期 第2四半期累計期間 (2016.4.1 — 2016.9.30)		前期実績 2016年3月期 通期 (2015.4.1~2016.3.31)	当期予想 2017年3月期 通期 (2016.4.1 — 2017.3.31)		前回当期予想 2017年3月期 通期 (2016.4.1 — 2017.3.31)		
		増減	増減率		増減	増減率			
売上高	16,015	15,777	-238	-1.5	32,323	31,800	-523	-1.6	31,900
日本	2,852	2,860	8	0.3	6,054	6,463	409	6.7	6,103
海外	13,163	12,916	-246	-1.9	26,269	25,337	-931	-3.5	25,797
営業利益	2,851	2,085	-766	-26.9	5,656	3,730	-1,926	-34.1	4,000
利益率	17.8	13.2			17.5	11.7			12.5
経常利益	2,850	2,278	-573	-20.1	5,770	3,970	-1,800	-31.2	4,100
利益率	17.8	14.4			17.9	12.5			12.9
親会社株主に帰属する当期純利益	1,932	1,638	-294	-15.2	4,367	2,780	-1,587	-36.3	2,850
利益率	12.1	10.4			13.5	8.7			8.9
営業利益増減要因		売上構成差等 原価低減等 為替レート差 諸経費等 試験研究費	678 218 -817 -774 -71			売上構成差等 原価低減等 為替レート差 諸経費等 試験研究費	1,353 339 -1,965 -1,507 -146		
為替レート	122円/US\$ 135円/EURO	107円/US\$ 120円/EURO			121円/US\$ 133円/EURO	104円/US\$ 115円/EURO			106円/US\$ 121円/EURO
設備投資	506	637			1,357	1,600			1,600
減価償却費	313	335			650	800			800
試験研究費	463	534			1,024	1,170			1,200
有利子負債残高	2,014	1,614			1,700	1,600			1,650
業績評価		・5期振りの減収・減益 ・連結販売台数は第2四半期累計期間として過去最高				・5期振りの減収・減益 ・連結販売台数は通期として過去最高			
日本販売台数合計	67	68	2	2.3	145	159	13	9.1	156
登録車	50	52	3	5.3	112	123	11	10.2	119
軽自動車	17	16	-1	-6.8	34	36	2	5.8	37
海外販売台数合計	406	444	38	9.4	813	904	91	11.2	893
北米	317	355	39	12.2	630	714	84	13.3	696
欧州	23	22	-1	-3.9	48	47	0	-0.4	50
中国	20	22	1	6.2	44	45	0	0.3	49
その他	45	45	-1	-1.7	90	98	7	8.2	99
連結販売台数総計	472	512	40	8.4	958	1,062	104	10.9	1,050
生産台数合計	460	502	43	9.3	951	1,054	103	10.8	1,051
日本	348	355	7	2.0	715	718	3	0.4	710
米国	112	148	36	32.0	236	336	100	42.3	341
売上高事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他	15,057 735 185 38	14,924 668 146 39	-133 -67 -39 1	-0.9 -9.1 -20.8 2.4	30,394 1,528 326 75			
営業利益事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他 消去・全社	2,732 96 6 13 3	2,033 36 -3 15 5	-699 -60 -9 1 1	-25.6 -62.7 -148.3 9.1 39.4	5,436 182 1 29 8			

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（千台未満を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 企業結合会計基準等の改正に伴い、2016年3月期から従来の当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」へ表記変更

注3. 為替レートは富士重工業単独売上レート

注4. 連結販売台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

注5. 日本生産台数にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。

2016年11月2日

富士重工業 2017年3月期 第2四半期連結業績の概要**<2017年3月期 第2四半期累計期間業績：連結売上高>**

スバル車の全世界販売台数は、前年同期比 8.4%増の 512 千台となりました。国内販売では、軽自動車が前年を下回ったものの、登録車ではフォレスターなどが順調であったことから、同 2.3%増の 68 千台となりました。海外販売では北米を中心にレガシィ/アウトバックが引き続き好調に推移し、海外合計では同 9.4%増の 444 千台となりました。

連結売上高は、販売台数の増加があったものの、為替変動の影響などにより、同 1.5%減の 1 兆 5,777 億円となりました。

なお、北米販売台数は 8 期連続、全世界販売台数および海外販売台数は 5 期連続で第 2 四半期累計期間として過去最高*1 となりました。

<2017年3月期 第2四半期累計期間業績：連結損益>

連結損益は、販売台数の増加や原価低減の進捗などにより、エアバッグインフレーターに起因する品質関連費用を中心とした諸経費等ならびに試験研究費の増加を吸収したものの、為替変動が影響し、営業利益が前年同期比 26.9%減となる 2,085 億円となりました。経常利益は同 20.1%減の 2,278 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同 15.2%減の 1,638 億円となりました。

<2017年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、前回予想に対して諸経費等の増加を販売台数の増加などで吸収しますが、為替変動の影響を織り込むことにより、連結売上高 3 兆 1,800 億円、営業利益 3,730 億円、経常利益 3,970 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 2,780 億円に修正します。

なお、北米販売台数は 8 期連続、全世界販売台数および海外販売台数は 5 期連続で過去最高*2 となる見通しです。

通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥104/US\$、¥115/EURO です。

※前回（2016年8月3日）公表の通期連結業績見通し

連結売上高 3 兆 1,900 億円、

営業利益 4,000 億円、経常利益 4,100 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 2,850 億円、

想定為替レート ¥106/US\$、¥121/EURO

*1：中間連結決算の開示を始めた 2001 年 3 月期以降の過去最高

*2：通期連結決算の開示を始めた 1986 年 3 月期以降の過去最高

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。